福井県文書館資料叢書18

福井藩士履歴 10

新番格以下3 ターム



1 「新番格以下」高橋直矢

松平文庫 福井県文書館保管



2 「新番格以下」坪田(岡倉)覚右衛門

松平文庫 福井県文書館保管



3 「新番格以下」内藤2(部分)

松平文庫 福井県文書館保管



4 「新番格以下」南部茂三郎 (部分)

松平文庫 福井県文書館保管

- 、本巻は、福井県文書館資料叢書の第一八冊目であり、『福井藩士履歴』の第一〇冊目である。
- 、本書の原本は、福井県文書館に保管されている「松平文庫」のなかの「新番格以下」「新 番格以下増補雑輩」「雑輩之類剝札」である。「新番格以下」は一~七で構成されている。
- 「新番格以下」に収載される藩士の家格は、卒に該当する。資料名は「新番格以下」となっ

このうち本巻では、三と四の一部を翻刻した。

、本巻に掲載された藩士には既刊叢書と重複する人物もあるが、そのまま掲載した。

ているが、新番格(新番並)は士分に属するため本資料には含まれない。

- 一、資料の利用に資するため、巻末に参考資料を付した。
- 、編集にあたっては次のように取り扱った。
- ①各家は「新番格以下」の記載順とし、同姓が複数ある場合は、家名にアラビア数字を付 として管理され書き継がれていたため、本書でも同様に取り扱っている。 家の継承が行われず姓が変わることもあるため、厳密には個人として扱うべきだが、家 した。なお、「新番格以下」に記載されている卒は士分と違い、家督相続という形での
- ②各家の名称は、原本の編集方針に沿って最後の人物の姓を採用した。
- (3)原本の人名には貼紙・訂正・朱書などがあるが、次のように取り扱った。
- ・各家の最初に貼られているその家の最後の人名は省略した。
- 最初に記載されている人名を見出しとして採用し、既刊の体裁に合わせて冒頭に配置 の名前を見出しの人名にした。 した。ただし最初の人名のところに改名が記されている場合には、原則として改名後
- 改名は最初の人名に記されているもののみを、原則として古い順に並べて見出しの人 名の下に記した。
- ・肩書など名前以外の記載については見出しの人名の下に記した。

4)原本の巻末に記されている「書役」の名前は省略し、参考資料で紹介した。

(5)柱はそのページの最初の段落における家名を示した。

翻刻にあたっては、原本の体裁にそうよう努めたが、読みやすくするために、また検索

の便宜を図るため、次のように取り扱った。

⑴使用字体は原則として常用漢字を用い、異体字は原則として正字に改めた。また変体仮 名や合字は通常の仮名に改めたが、次に掲げるような仮名・俗字・慣用字句は残した。

躰 (体) 斗 (ばかり) 而已 (のみ) 而 (て)

江(え) 者(は) 与(と) 茂(も)

(2)全文にわたって読点をつけ、あわせて文意が通じないものには(マ、)などの傍注を付

した。また明らかな誤字・脱字は訂正したものもある。

(3)欠損・虫損等によって文字が判読できない場合には、□や____で示した。

4原本の平出・闕字などはすべて省略した。

(5)追記・訂正など朱書はそのことを断らずに、適宜本文に反映した。

、本書には、現在からみると基本的人権に関わる歴史的事象も含まれているが、地域の歴

史的事実を正しく理解するために原文をそのまま翻刻することを原則とした。本書は人

権尊重をめざし、史実にもとづく研究を進める立場から刊行するもので、この趣旨を理

解し、利用していただきたい。

翻刻にあたっては田原健子氏(元福井県文書館運営懇話会委員)が筆耕した。校合・編

集は当館職員が行った。

資料の所蔵者である越前松平家福井事務所、筆耕に多大なご協力をいただいた田原健子

氏に深く感謝申しあげる。

目

次

	五	四	三	\equiv	_	
解説	新番格以下	新番格以下	新番格以下	新番格以下	新番格以下	凡 口 例 絵
	L	ナ	ネ	ツ	タ	
山形県立米沢女子短期大学教授						
	147	111	107	87	1	
布						
施						
賢						
治						

参考資料

44	喜多村藤右衛門…	34	高橋春嘉	26	竹中久蔵	玉村加右衛門 15	: 6	高嶋三久郎	高嶋三久	
	高橋 8	34	高橋春朴	25	竹中伝節	玉村1	: 5	之助…	高嶋久米之助	
43	高橋吟平		高橋 2		竹中	高嶋喜三郎 14	: 5)	高嶋彦蔵:	
	高橋 7	33	高橋助右衛門	25	大久保湊一郎	高嶋文之助 13	: 5	';' : :	高嶋直作	
43	高橋賴介	33	高橋藤太郎	24	大久保利太夫	高嶋喜左衛門 12	: 5	高嶋左五兵衛	高嶋左五	
	高橋 6	33	高橋長太夫		竹 沢 ₂	高嶋6			高嶋2	
42	高橋兼吉	33	高橋忠次	23	竹沢祐三郎	高嶋善八 12	: 4	郎	高嶋岩五郎	
41	高橋金次郎	33	高橋久悦	23	竹沢新助	姉崎忠次郎 11	: 4	, E.Q.	高嶋金蔵	
	高橋 5		高橋 1		竹 沢 1	姉崎勘太夫 11	: 4	, E.Q.	高嶋金蔵	
40	松井常次郎	32	佐藤喜太次郎	23	玉村新	高嶋5	: 4	';' : :	高嶋伊作	
40	松井長太夫	31	佐藤捨吉	22	南部七蔵	直江政次郎 10	: 3)助	高嶋吉之助	
	高橋 4	31	佐藤次右衛門	21	南部甚平	直江元介 9	: 3	> \rd	高嶋古繁	
39	永井悦次郎		田嶋3		玉村 4	直江文助 9			高嶋1	
38	永井悌二郎	30	田嶋甚八郎	21	玉村玄治	高嶋4	: 2	郎	田中佐太郎	
38	永井元一郎	29	田嶋惣左衛門	21	玉村百平	高嶋金吾 8	: 2	郎	田中岩太郎	
37	永井丈吉	29	田嶋与左衛門	20	清水七左衛門	高嶋育蔵 8	: 2	郎	田中幾次郎	
37	永井茂三郎		田嶋2	19	大越新七	高嶋弥三郎 7	: 2	郎	田中猪四郎	
37	永井久次郎	28	田嶋又三郎	19	大越安五郎	高嶋虎太郎 7	: 2	郎	田中又九郎	
37	永井栄立	27	田嶋与三右衛門…	18	大越安右衛門	高嶋久賀 7			田中	
	高橋 3	27	田嶋門吉		玉村3	高嶋3			夕	
37	高橋太一	27	田嶋与三右衛門…	17	玉村又吉					
36	高橋直矢		田嶋1	16	玉村栄蔵					
35	高橋武次郎	26	竹中半次郎		玉村 2		次	目	細	
35	高橋栄助	26	竹中金助	15	玉村与左衛門					

	宮永増次郎······· 54 宮永増次郎······ 53	宮永増右衛門 53	高大4 森尾侒左衛門 52	森尾喜斎 52	森尾喜伯 51	森尾道伴 50	森尾林雪 50	森尾文右衛門 50	森尾儀右衛門 50	森尾庄右衛門 50	高木3	高木要助 49	高木又五郎 48	高木林弥 48	高木藤左衛門 48	高木2	高木忍市 46	高木茂兵衛······· 45	高木1	喜多村幾三郎 44
安達又左衛門 64	竹内 1 高野他五郎 63	高野金太郎 63 6	衛門	高野2	若山弥次郎 61	川崎専助 61	高野1	多田寛輔 60	多田立節 59	多田栄蔵 59	多田豊蔵 59	多田幸三 59	多田五兵衛 59	多田五右衛門 59	多田金兵衛 58	多田	田村鐘太郎 58	田村左一郎 56	田村勘助 55	田村
	竹村 1 田中伝内 71	竹内忠右衛門 71	竹 白崎源蔵 70	白崎彦三郎 69	白崎岩五郎 69	白崎武右衛門 68	竹内3	大村甚八郎 68	大村吉郎兵衛 67	大村吉蔵 67	大村吉右衛門 66	大村惣右衛門 66	大村清兵衛······· 66	大村武右衛門 66	竹内2	竹内栄次郎 65	安達弥一郎 65	安達次郎八 … 64	安達又五郎 64	安達伝九郎 64
	多喜多之助 78	高橋友悦 77		多喜 1	山形仁平 76	山形太吉 76	安達右太夫 75	安達忠蔵 75	谷江	竹村忠次郎 75	竹村忠兵衛 74	竹村敏太郎 74	竹村忠右衛門 74	竹 村 2	吉村周右衛門 73	吉村彦三郎 73	田中七蔵 72	田中吉郎	田中惣次郎 72	田中源助 72
坪川 坪川半四郎 88	ツ	服部元吉 86 8		服部喜一郎 84	服部清太夫 84	谷口	高垣桃碩 83	高垣惣栄 83	高垣東四郎 82	高垣栄助 82	高垣甚太郎 81	高垣惣四郎 81	高垣惣右衛門 81	高垣	中川文嘉 80	中川文益 79	中川長二 79	中川友佐 79	中川栄哲 78	中川栄哲 78

鶴沢	辻荘太郎 95	辻万左衛門······· 94	辻五郎右衛門 94	辻	津嶋藤八郎 94	奥谷綱次郎 93	吉野茂七郎 93	吉野与三平 93	吉野孫市 93	吉野喜三右衛門… 92	津嶋2	牧本円蔵 92	牧本孝太郎 91	牧本文五郎 90	牧本亥蔵 90	牧本忠助 90	牧本忠左衛門 90	牧本五兵衛 89	津嶋1	坪川孝太郎 89	坪川武作 88	坪川半助 88	坪川常太郎 88
佐藤篤弥 105	佐藤寿悦 105	佐藤滝蔵 105	土田	筒井重吉 104	筒井平三郎········ 104	筒井	広瀬勝次郎 103	斎藤兵助 103	斎藤林左衛門······ 103	坪田2	坪田健太郎 102	坪田官次102	岡倉覚右衛門 101	坪田1	早見捨吉 100	津保	鶴沢岡次郎 100	鶴沢虎三郎 99	靍 沢八五郎 98	靍沢惣助 97	靏沢藤助 97	靍沢養山 96	靍沢養琢 96
中山次郎作 117	中山次五右衛門… 117	南部3	南部新平116	南部忠助115	南部2	南部退蔵 114	南部彦助113	南部 1	中山栄次郎 113	中山真佐右衛門… 112	中山又五郎 112	中山栄次郎 112	青山専助112	中山	ナ		根津門嘉 108	根津潤三郎 108	柳本作右衛門 108	根津	ネ		土田熊三郎 106
中野賢次郎 126	中野此三郎 126	中野茂作 125	中野惣久 125	中野	南部基佐 124	南部甚栄 124	南部甚弥 124	南部儀右衛門 124	南部儀右衛門 123	南部安吉 123	南部甚兵衛 122	南部 6	藤井貞介122	藤井元八 122	木本直八郎 121	木本庄次郎 121	木本文太夫 121	南部 5	久留嶋勝太郎 120	久留嶋長嘉 119	三上嘉春 119	南部 4	中山文八118
永井宗兵衛······· 134	永井立跡······· 134	永井 1	中村小太郎 134	渥美勝次 133	御影池数吉 133	御影池文益 132	中村3	中村他一郎 131	中村理太夫 130	中村多兵衛 130	中村太兵衛 130	中村半助	中村太兵衛 129	中村太兵衛 129	中村太兵衛 129	中村太兵衛 129	中村2	中村弥太郎 128	中村外之助 128	中村弥一郎 127	中村十次郎 127	中村十次郎 127	中村工

永嶋藤蔵 143	永嶋喜六 143	永嶋喜六 143	永嶋小兵衛 142	永嶋	直江義三郎 142	高橋九兵衛 141	高橋甚左衛門 141	直江	永山閑益······· 140	永山忠兵衛 140	永山忠意······· 139	永山鍋次郎 139	永山他蔵138	· 永山藤吉 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	永山加左衛門138	永山	永井欽也······ 138	永井豊助 136	永井三悦······· 136	乙部善太夫 136	永井2	永井宗九郎········ 135	永井宗一郎 134
村上丈太郎 151	村上文之助 151	村上三弥太 150	村 上 文 平 … 150	村上丈太夫 150	村上1	村尾豊三郎 149	村尾豊三郎 148	村尾嘉藤次 148	村尾新次郎 148	村尾弥四郎 148	村尾新兵衛 148	村尾	4		内藤久太夫 145	久作······· 145	内藤 2	梅津玄悦 144	梅津直右衛門 144	内藤1	永嶋藤三郎 144	永嶋文五郎 143	永嶋藤三郎 143
村野信吉 160	村野清八郎 160	村野捨作 159	村野幾右衛門 159	村野3	南部茂三郎 157	南部伝太郎 157	南部喜太郎 157	南部喜太郎 156	南部伝四郎 156	村野2	村野猪三郎 155	村野猪三郎 155	村野曾右衛門 154	村野1	村上鏡冬 154	村上外太郎 153	村上長二 153	村上三益 153	村上玄三 153	村上宇野右衛門… 152	村上勝五郎 152	村上安兵衛 152	村上2

 政
 連

 福田安太夫
 連

 連
 連

 連
 要

 成
 田

 成
 田

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

 市
 市

- 1 「新番格以下」高橋直矢
- 3 「新番格以下」内藤2 (部分)

2 「新番格以下」坪田(岡倉)覚右衛門

4 「新番格以下」南部茂三郎(部分)